



トーカロ株式会社

2021 年 3 月期 第 2 四半期決算 会社説明会

2020 年 11 月 10 日

イベント概要

[企業名]	トーカロ株式会社		
[企業 ID]	3433		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 3 月期 第 2 四半期決算 会社説明会		
[決算期]	2020 年度 第 2 四半期		
[日程]	2020 年 11 月 10 日		
[ページ数]	45		
[時間]	13:30 – 14:26 (合計：56 分、登壇：46 分、質疑応答：10 分)		
[開催場所]	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-6-1 日経茅場町別館 B1 (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	238 m ²		
[出席人数]	50 名		
[登壇者]	3 名		
	代表取締役社長	三船 法行 (以下、三船)	
	取締役 管理副本部長	後藤 浩志 (以下、後藤)	

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

経営企画室 次長

細見 憲司（以下、細見）

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



登壇

司会：それでは、定刻となりましたので、ただ今から、トーカロ株式会社様の IR ミーティングを開催いたします。

最初に、会社からお迎えしている 3 名の方をご紹介します。まず、代表取締役社長の三船法行様です。

三船：どうも、三船でございます。

司会：よろしくお願いいたします。次に、取締役、管理副本部長兼経理部長兼経営企画室長の後藤浩志様です。

後藤：後藤でございます。よろしくお願いいたします。

司会：よろしくお願いいたします。次に、経営企画室次長の細見憲司様です。

細見：細見です。よろしくお願いいたします。

司会：よろしくお願いいたします。

本日は、三船社長様からご説明いただくことになっておりますが、ご説明が終わりましたら質疑応答の時間を設けていただいております。

それでは、早速ではございますが、三船社長様、よろしくお願いいたします。

三船：ありがとうございます。今、ご紹介に預かりましたトーカロ株式会社、代表取締役社長の三船でございます。今日はフェイスシールドがありますので、マスクを外させていただいて、説明したいと思います。よろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、またこのコロナの状況の中で、私どもの第 2 四半期決算発表の説明会にご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。御礼申し上げたいと思います。また、日頃につきましては、私どもの事業運営に関しましてサポート、ご高配いただきまして、ありがとうございます。この場をお借りしまして、御礼申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



1. 会社概要
2. 第2四半期連結決算の概要
3. 2021年3月期 連結業績予想
4. 持続的成長の実現に向けて

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

2

それでは、早速、2021年3月期第2四半期の決算を説明したいと思います。

今日の発表内容ですが、四つありまして、何も今までとあまり変わることもないのですが、会社の概要、第2四半期決算の概要、2021年3月期の連結業績予想、最後に持続的成長の実現に向けて何をしていくのかというところをご説明申し上げたいと思います。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

■ トーカロ株式会社

事業内容：溶射を中心とした表面改質加工

本 社：兵庫県神戸市

設 立：1951年 7 月

資 本 金：26億5,882万3千円



売 上 高：連結 378億96百万円（2020年3月期）

従業員数：連結 1,060名（2020年 3 月末現在）

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

4

第一に会社の概要から、毎回ご説明しておりますので、簡単にご説明申し上げたいと思います。

私どもは、溶射を中心とした表面改質の加工を生業としておりまして、設立が 1951 年となりますので、今年 70 期を迎えたということになります。資本金が 26 億、売上高、前期ですけれども 378 億 9,600 万円、従業員数は連結で 1,000 人を越えたところでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

当社の主な事業所

TOCALO



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

5

神戸が創業の地でして、本社は神戸に設けておりまして、ポートアイランドという島にあります。今、ちょうどコンピューターの京から富岳になりましたが、富岳の対面するところに本社を置いております。

工場につきましては、神戸が発祥の地でございますので、神戸にももちろん工場があるのですが、メインの工場は明石と東京の船橋にあります。あと水島、北九州、名古屋。

もともと溶射というのは、欧米ではどちらかというと宇宙航空、ガスタービンを中心としたエネルギー、オイル&ガスなどの産業を中心に発達をしたというところがございます。

日本は、間違いなく鉄鋼業によって支えられて溶射が発達してきたというところで、どちらかというと鉄鋼業、世界一の品質を製鉄業の皆さんが作り上げるのですが、そこに私どもの溶射を採用していただいて、共に育てていただいたというのが正しいかもしれませんが、そういうところで工場の立地が昔ながらの鉄鋼業の盛んな地域であるという、太平洋ベルト地帯という昔懐かしい名前ですけれども、そういうところになります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

もう一つは、宮城に技術サービスセンターを設けております。今、私どもの売上のメインを示しております半導体関係のお客さんの工場がありますので、その近くに設けておりまして、技術開発をそこでやりながら将来を見込んだ商品開発、製品開発をやっているというところでございます。

グループ会社



会社名	設立年月	本社	出資比率	主な事業分野
連結子会社				
日本コーティングセンター株式会社	1985年 4月	神奈川県	100%	PVD処理加工
東華隆(広州)表面改質技術有限公司	2005年 4月	中国 広東省	70%	溶射(鉄鋼他)
東賀隆(昆山)電子有限公司	2011年 5月	中国 江蘇省	90%	溶射(半導体・FPD)
漢泰国際電子股份有限公司	2011年 6月	台湾 台南市	50%	溶射(半導体・FPD)
TOCALO USA, Inc.	2015年11月	米国 CA州	100%	溶射(半導体他)
その他(非連結、持分法非適用)		インドネシア1社、タイ1社		溶射(鉄鋼他)



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

6

子会社につきましては、売上の8割、9割ぐらゐを溶射が占めているのですが、やっぱり足りない部分とか表面処理で溶射だけでは対応できないところがございます、PVD、物理蒸着法で薄膜で硬い皮膜とか、有効な皮膜を作るのですけれども、PVDという加工をやっている会社がございます。日本コーティングセンター社ですが、2004年に住友金属鉱山さんから譲り受けて、100%子会社にしたということでございます。

海外につきましては、上三つは漢字で並んでいるのですけれども、台湾の漢泰グループ、この字なのですが、漢泰グループと合併を作っておりまして、中国に二つ、台湾に一つあります。出資比率はここに書いてあるとおりです。

海外戦略につきましては、半導体・FPD関係のリコートでありますとか、鉄鋼業関係のロールのリコート、そういうのが海外戦略用の皮膜、スペックになっておりまして、それを各地でリコートをする、メンテナンスサービスをするという形で、海外の子会社を設けております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



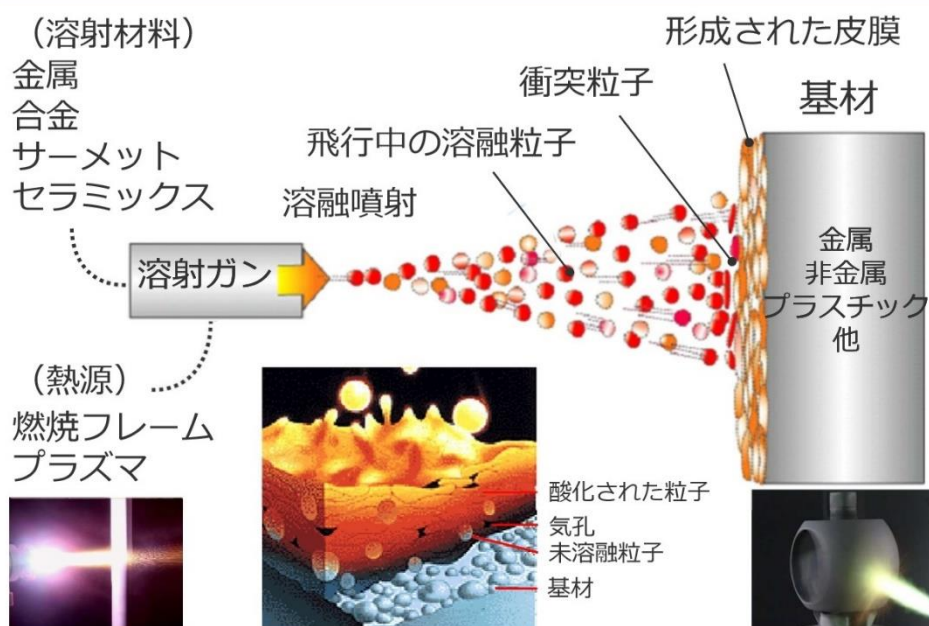
アメリカにも、ようやく動き始めた状態で今からという形になりますけれども子会社を設けております。

それから、連結対象ではありませんけれども、日系の鉄鋼メーカーさんが進出されているインドネシア、タイ、ここにも子会社、関係会社を設けています。

溶射とは

TOCALO

溶射の原理（イメージ）



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

7

溶射に関してですが、なかなか溶射というのは知名度が低いものですから、もっともっと表面改質の中に溶射という位置付けを上げていかないといけないと思っています。

非常に単純な技術でして、ここに漢字で書いてありますように、溶かしたものを射ると、単純な構造になってまして、溶かすのにどういうエネルギーをつけるかというと、炭素水素系のガスの燃焼でありますとか、活性ガスの中に放電させまして、その活性ガスをプラズマ化して、例えば1万度みたいなフレイムを作ると。

その中に材料ですけれども、いろいろな金属ですとか、合金、サーメット、セラミックス、そういう溶かすものを放り込んでやって、ある一定以上のスピードで吹き付けるとコーティングができると、そういう非常に単純な世界でございます。

サポート

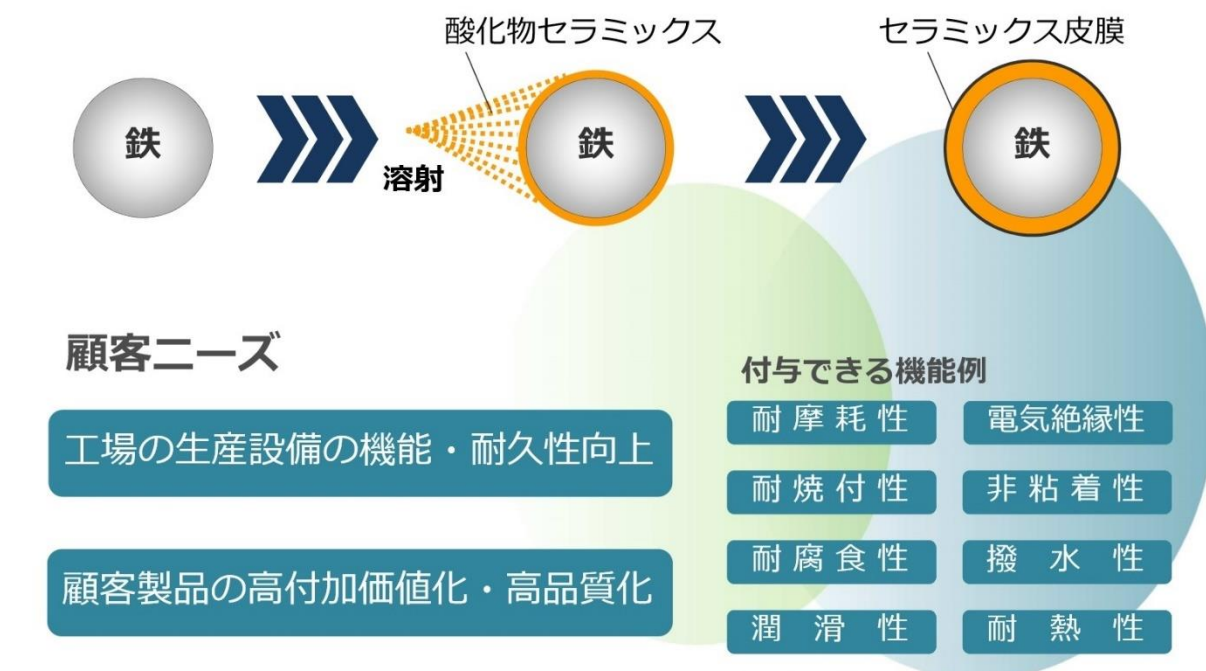
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

単純ゆえに、その制御が非常に難しいところ、お客さん、ユーザーさんの環境に適した問題点を解決するような皮膜を作り上げていくのがミソでして、そこに私どもの生業の部分があります。

表面改質とは

TOCALO



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

8

一般的に表面改質がビジネスの範疇になってくるわけなのですが、表面を新しい品質のものに改良していこうということになるのですけど。表面改質というと一般的にクロムメッキですとか、熱処理、焼入れですとか、溶接での肉盛りですとか、そういう所をどうしても思い浮かべるのですが、私どもは溶射を中心にやっています。

お客さんのニーズとしましては、工場のラインの中に使っていく、そして生産性を上げるというか、耐久性を上げて良いものを作っていただくというのと、もう一つはお客さんの製品の中に溶射した部品が組み込まれておりまして、それが機能を上げることによってお客さんの製品が売れるという二つのニーズの中で、私どもの溶射、表面処理をセールスしているということになります。

簡単に言いますと、例えば新幹線のベアリングとかで、電気を絶縁する機能を付与するためにコーティングをやっているのですが、新幹線というのはパンタグラフから電気を取りまして、トラクションモーターを回すのですけれども、

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

一部でも電気がリークしてベアリングの玉に傷がつきますとクレーターが生じるものですから、滑らかな回転をしないということで、事故につながるということで、そのリーク電流を防止するための対応、これを何カ所もされているのですけれども、その一つとしてそのベアリングの上に、外側にコーティングをしています。

鉄の上に酸化物のセラミックスを溶射しまして、電気絶縁性を付与したものをベアリングメーカーさんに納める、ベアリングメーカーさんはモーターメーカーさんに納めて、例えば新幹線のメーカーですとか、そういうところで使われる。それは世界各国でも一緒に、中国でも一緒にですし、ヨーロッパでも一緒にですよという話です。

工場の生産設備については、鉄鋼ですとか、紙とか使われている。今日、私も新幹線で来たのですけれども、富士地区を通りますと製紙のメーカーさんがいっぱいあるのですけれども、若い頃しょっちゅうあの辺に行ってまして何となく懐かしかったのですが。あそこはティッシュを作っています。フェイシャルティッシュを作っている工場がございます。

紙というのは、パルプから製品が、乾燥の世界、要は水をどれだけ抜いていくかという世界なので。最初 95%ぐらい水があったのが、最後 5%ぐらいになって製品ができるのですけれども、ティッシュも一緒に、ただティッシュの場合は乾燥と同時に柔らかさを求める、あの柔らかさは何で作るかというと、シワをつけるのですね。

くしゃくしゃにシワにすると柔らかくなると思うのですが、このシワをつけるのに大きな、直径が3メートル、4メートルぐらいの大きなロールで、幅3メートル、4メートル、5メートルぐらいの大きな何十トンというロールがあるのですが。その上で紙が付きながら引っ張られて紙の製品ができるのですけれども、その時にシワをつけるのにこすり剥がすというんですか、ひっついてるものにドクターブレードという板を当てまして、「こさぎとる」と。「こさぎとる」って博多弁、私博多の出身なのですが、標準語でいいのですかね。

そういうこさぎとりながらしわを付けていく。その時にドクターブレードを当てる、鉄の板を当てるものですから、ロールの上に。ロールに傷がつくんですね。ロールが傷ついたら、あんな薄い紙はとれないですね。穴が開いたりする。そのロールの表面にコーティングをやっておくと、サーメットのコーティングをやっておくと傷がつかない。同じ均一に同じシワがずっとつく。それであの柔らかいやつができると。要するに、溶射というのは必須なのですね。

今、たぶん日本でティッシュ作っているところが、大きなロールだったら 150 本ぐらいあると思います。ほとんど溶射していると考えていただいて結構です。そういうものでフェイシャルティッ

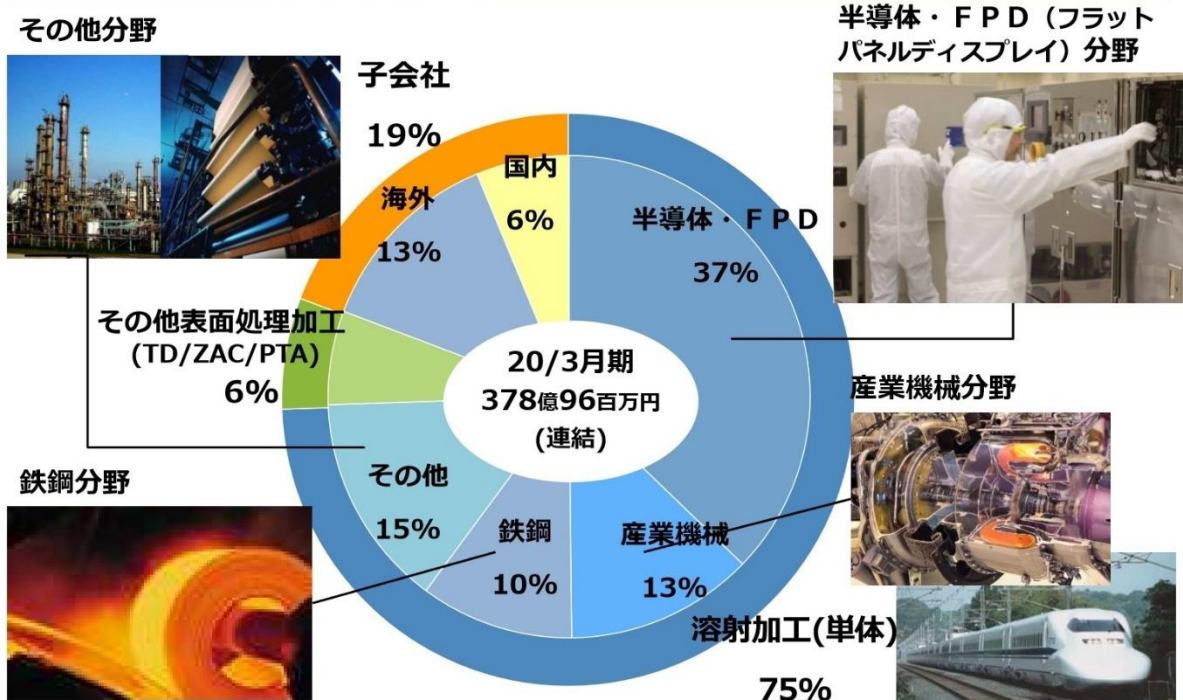
サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

シュができていますよというところで、そういう工場の生産設備の機能というか耐久性を向上させるために溶射が使われていますよというご紹介です。

さまざまな産業界に広がる事業領域

TOCALO



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

9

当社グループの主な事業領域をご説明します。

前期の2020年3月期の売上ですけれども、378億9,600万円とあります。その中で、いろんな分野でお使いいただいているのですが、青い部分の溶射加工(単体)と、緑のその他表面処理加工、溶射ではない表面処理を一部やっているのですけれども、ここがトーカロ本体でやっているところで、75%と6%で81%はトーカロ本体でやっています。

あと、子会社で先ほど説明しました国内、日本コーティングセンター、PVDの6%。それから海外、中国二つと台湾、アメリカはほとんどないので、この3社で大体13%を上げていますよというところです。その中でも溶射の加工の中でも一番大きいのはやっぱり半導体・FPDで、別に半導体そのもので溶射が使われているわけではなくて、半導体を作る装置に溶射が使われているというイメージで認識していただきたいと思います。

サポート

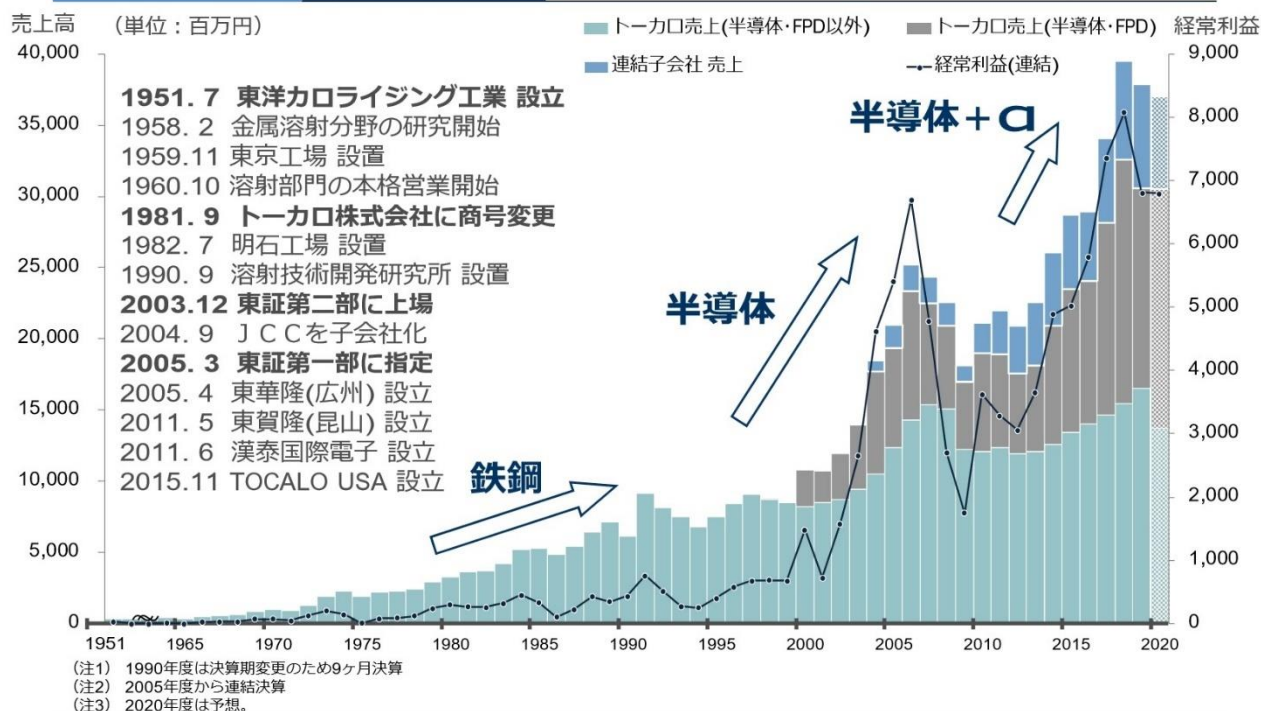
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

あとは、先ほど言ったベアリングなどのエンジニアリング関係ですとか、ガスタービンやボイラーなどのインフラ関係の産業機械ですとか、もともと日本の溶射技術が育った鉄鋼分野、その他、先ほどの紙でありますとか、石油関係でございます。

沿革・業績の推移（1951年度～）

TOCALO



当社のヒストリーです。

1951年に創業しまして、三つぐらいの波というか、成長の過程がございまして、バブルが弾けるまでは、ほとんど鉄鋼メーカーさんとのお付き合いが多かったものですから、このゆっくり伸びていったのは鉄鋼。

それから、この2000年ぐらいから半導体というところに適用が増えるのですけれども、この灰色の部分は95年ぐらいから半導体に関する研究開発を始めまして、本当は半導体というのは要はゴミを一番嫌う世界ですから、溶射の粉を積層する世界なので、使えるのだろうかというのがありましたのですが、何となくうまくいきまして2000年ぐらいから溶射の、一般の部分も上がってくるのですが、半導体の部分がプラスアルファになりまして、ここが第2回目の急激なアップかなと。

それからリーマンショックがありまして、ガクッと落ちるのですけれども、またこの半導体の灰色の部分、それから海外での売上、子会社の売上が上がってきまして、それが支えとなって今、一昨

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

年ぐらいですね、最高益に達した。80 億ぐらい上げたんですかね。そのぐらいになりまして、昨年はちょっと半導体の景気が落ちましたので、灰色の部分がちょっと落ちましたけれども、今年はどちらかというと一般部門、半導体以外の部門が落ち込み、後でご説明いたしますけれども、全体を下げているかなという状況でございます。

第2四半期連結決算 実績概要



ハイライト

(1) 前年同期比 増収増益 (売上+1.6% 経常利益+22.7%)

半導体・FPD分野が想定以上の増収

それ以外の分野はCOVID-19の影響を受け低調

(2) 子会社は 国内・海外ともに減収減益

海外も半導体・FPD分野は概ね好調

国内の自動車分野、中国の鉄鋼及び石油・ガス分野が苦戦

それでは、2 番目の第2四半期連結決算の概要についてご説明申し上げます。

ポイントとしましてハイライト的には、一つは前年同期に比べまして増収増益、売上は若干だったのですが、半導体・FPD が一本足で引っ張り上げてくれたおかげで、非常に増収を上げたおかげで、経常利益も上がってきました。それ以外の分野に関しましては、やっぱりコロナの影響、全体的に鉄鋼を中心として景気がかなりしぼんできたものですから、この低調さを受けてへこみました。

子会社につきましても、国内は、日本コーティングセンター、JCC と呼びますけれども、ここも車関係が多いものですから、特に前半の車関係の不調を受けまして、ちょっとしんどかったよねと。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

海外でも、中国は鉄鋼の関係、ここはオイル&ガスもやっているのですけれども、その辺の伸びがかなり挽回できなかったなど。あと、台湾と中国の半導体の関係は、一時はコロナで休業のところもありましたけれども、盛り返したというところがございます。

第2四半期連結決算 実績概要



売上高と営業利益率



経常利益と経常利益率



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

13

これは、第2四半期の連結決算の半期ごとの売上の利益を示したものでございまして、2019年の3月期から半期ごとに5期ほど並べております。

まず、売上ですが、ここが前期比になるのですけれども、前期に比べて若干上がってきました。前期の下期に比べて、そこそこのレベルまで来ましたという感じです。

利益につきましては、かなり半導体を中心にしたところで上がってきたところもありますので、そういう意味では利益がちょっと上がってきたなど、41億7,400万円、利益率としては21.9%まで来しました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



第2四半期連結決算 実績概要



(百万円)	2020/3期		2021/3期		前年同期比増減	
	実績	2 Q 構成比	実績	2 Q 構成比	金額	率
売上高	18,794	100.0%	19,093	100.0%	299	1.6%
溶射加工(単体)	14,097	75.0%	14,965	78.4%	867	6.2%
半導体・FPD	6,764	36.0%	9,019	47.2%	2,254	33.3%
産業機械	2,474	13.2%	2,075	10.9%	△ 399	-16.1%
鉄鋼	1,972	10.5%	1,739	9.1%	△ 232	-11.8%
その他	2,886	15.3%	2,131	11.2%	△ 754	-26.1%
その他表面処理加工	1,161	6.2%	1,029	5.3%	△ 132	-11.4%
国内子会社	1,197	6.4%	892	4.7%	△ 304	-25.4%
海外子会社	2,337	12.4%	2,205	11.6%	△ 131	-5.6%
営業利益	3,348	17.8%	4,091	21.4%	743	22.2%
経常利益	3,403	18.1%	4,174	21.9%	771	22.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,148	11.4%	2,688	14.1%	539	25.1%

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

14

何が良かったのかという話になってきますが、いかんせん、ここの部分を見ていただきたいのですけれども。

売上がやっぱり上がってきているのですが、前期比上がってきているのですけれども、溶射加工のところが上がってきまして、特に半導体・FPDが33.3%の伸びを示しておりますが、あとは軒並みマイナスなんですね。産業機械、鉄鋼、その他、溶射の部門、それから、その他表面処理加工と、溶射以外のところなんですけども。それから、国内の子会社JCC、海外子会社、軒並みマイナスがあるのであるのですけれども、それを半導体・FPDが一手に引き受けてくれて、プラスにしてくれたというところでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



セグメント情報

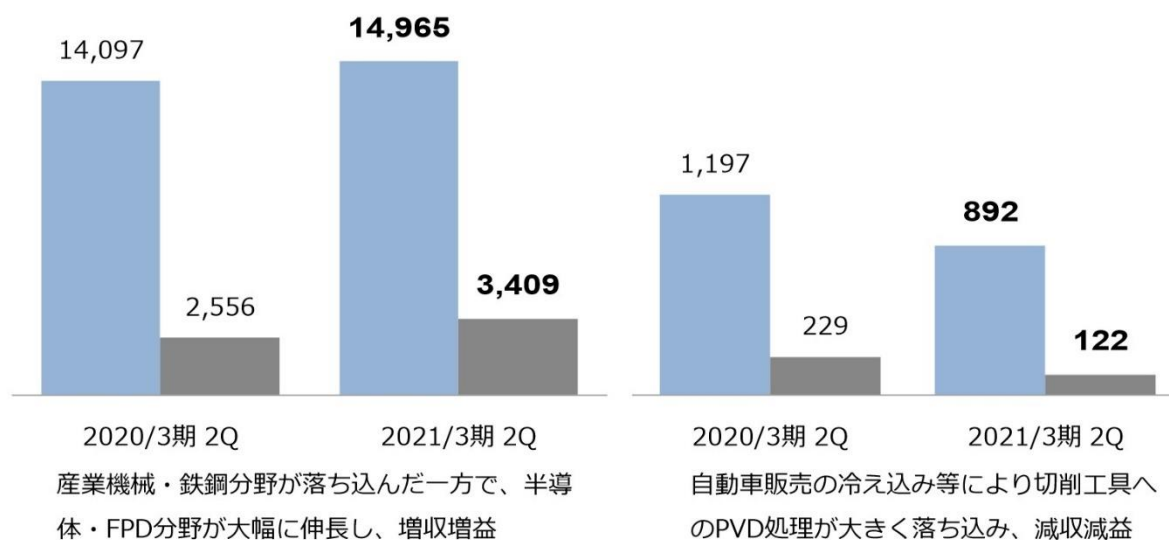


溶射加工(単体)

国内子会社

■ 売上高(百万円)

■ セグメント利益(百万円)



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

15

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



セグメント情報

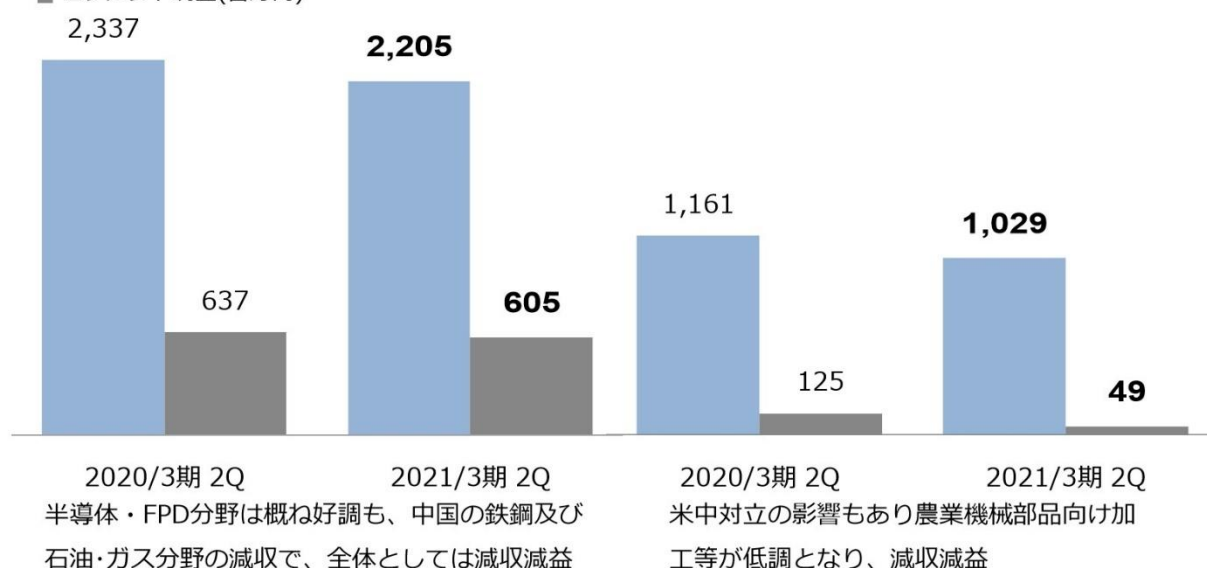


海外子会社

その他表面処理加工

■ 売上高(百万円)

■ セグメント利益(百万円)



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

16

同じようにセグメント別に売上と利益を見ているのですが、ここも先ほどの説明と一緒に、半導体・FPD が全体を引っ張ってくれて、ここだけが増収増益です。そこを含む溶射加工、単体の部門が増収増益を達成して、あとは国内子会社 JCC であるとか、海外子会社であるとか、海外子会社も頑張ったのですが、なかなか去年ほどまでにはいかなかった。その他表面処理加工についても減収減益になりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



セグメント情報



(百万円)	2020/3期 2Q		2021/3期 2Q		前年同期比増減			
					売上高		セグメント利益	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	金額	率	金額	率
溶射加工(単体)	14,097	2,556	14,965	3,409	867	6.2%	852	33.4%
国内子会社	1,197	229	892	122	△ 304	-25.4%	△ 106	-46.4%
海外子会社	2,337	637	2,205	605	△ 131	-5.6%	△ 32	-5.0%
その他表面処理加工	1,161	125	1,029	49	△ 132	-11.4%	△ 75	-60.1%
合計	18,794	3,548	19,093	4,187	299	1.6%	639	18.0%

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

17

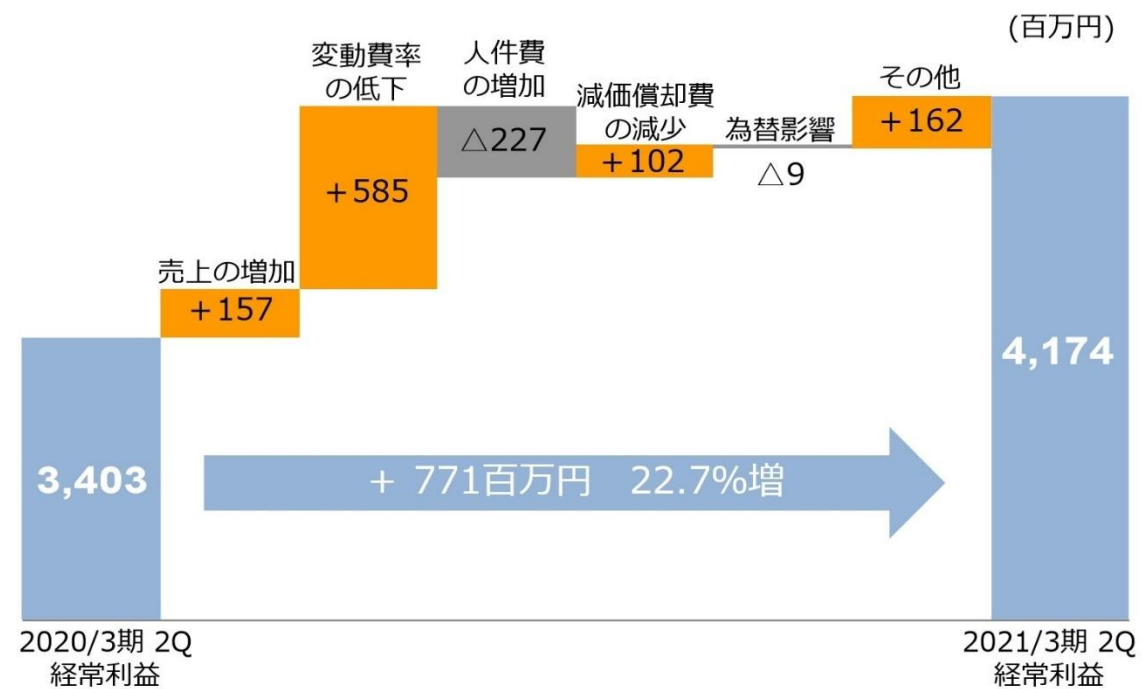
先ほどのものを一覧にしてまとめたものがこれでして、基本的にはこの部分ですね。売上に対しても利益に対してもこの溶射加工が引っ張って、その中でも半導体・FPDの製造装置向けというところでは。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



前年同期比 経常利益 増減要因分析



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

18

前年同期比の経常利益の要因分析、増減のファクターを見てみると、売上の増加で利益が上がってきますよねと。変動費率の低下とは、一般部門、半導体・FPD以外の部分のところ、鉄鋼、産業機械部門では、外注費が高いのですが、研磨であるとか、仕上げであるとか、そういうものが多いのですが、その分が非常に少なくなってきたというところでございます。

人件費につきましては、半導体が忙しかったので、社員が増えていますので、その分が上がってきたというところと、その他の部分でコロナの関係で交通費が減少した、また海外からのロイヤルティが増えたものですから、その辺がプラスになったということで、41億7,400万円という数字が利益として上がってきましたというところです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



財政状態



(百万円)	2020/3期		2021/3期
	2 Q末	4 Q末	2 Q末
総資産	56,596	61,122	61,817
自己資本	38,663	40,263	42,140
自己資本比率	68.3%	65.9%	68.2%
有利子負債残高	5,860	8,145	7,057

- ・ 総資産は前期末比 6 億95百万円の増加（固定資産の増加 7 億44百万円）
- ・ 自己資本比率は前期末比 2.3ポイント上昇の68.2%
- ・ 有利子負債は前期末比 10億88百万円の減少（新規借入なし）

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

19

財政状況につきましてですけれども、固定資産が7 億 4,400 万円増えたこともありまして、総資産が増えていますよと、6 億 9,500 万円増えていますよという話と、自己資本が前の期の利益の積み上げで増えていますので、自己資本比率が前期比で 2.3%上昇して 68.2%になりました。

今期につきましては、前期末に 30 億円の借入をしたのですが、今期については借入はありませんので、そのまま負債は 70 億になります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



キャッシュ・フローの状況



(百万円)	2020/3期 2 Q	2021/3期 2 Q
営業キャッシュ・フロー	2,025	4,180
投資キャッシュ・フロー	△ 2,771	△ 1,932
財務キャッシュ・フロー	361	△ 2,002
現金及び現金同等物の期末残高	11,781	16,714

- ・当2Qのフリーキャッシュ・フロー（営業CF＋投資CF）は＋22億円
 - ・投資CF／有形固定資産の取得 前期：△24億円 当期：△18億円
 - ・財務CF／長期借入による収入 前期：＋21億円 当期：なし
- ※前期末30億円の長期借入を実施し、手元流動性 確保（COVID-19対策）

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

20

キャッシュ・フローの状況ですが、第2クォーターのフリーキャッシュ・フロー、営業キャッシュ・フロー、投資キャッシュ・フローの合計はプラスの22億円となっておりますので、健全であろうと思います。

あとは、財務の関係で、今、167億1,400万円という現金の同等物があるのですが、この中で70億円ほどが先ほどの借金ですので、差し引いたものがネット・キャッシュになると思います。

今、コロナの関係もございまして、手元を厚くしてという状況でございます。このウィズ・コロナの中では、この辺の資金は手元に置いておこうかなと思っております。

サポート

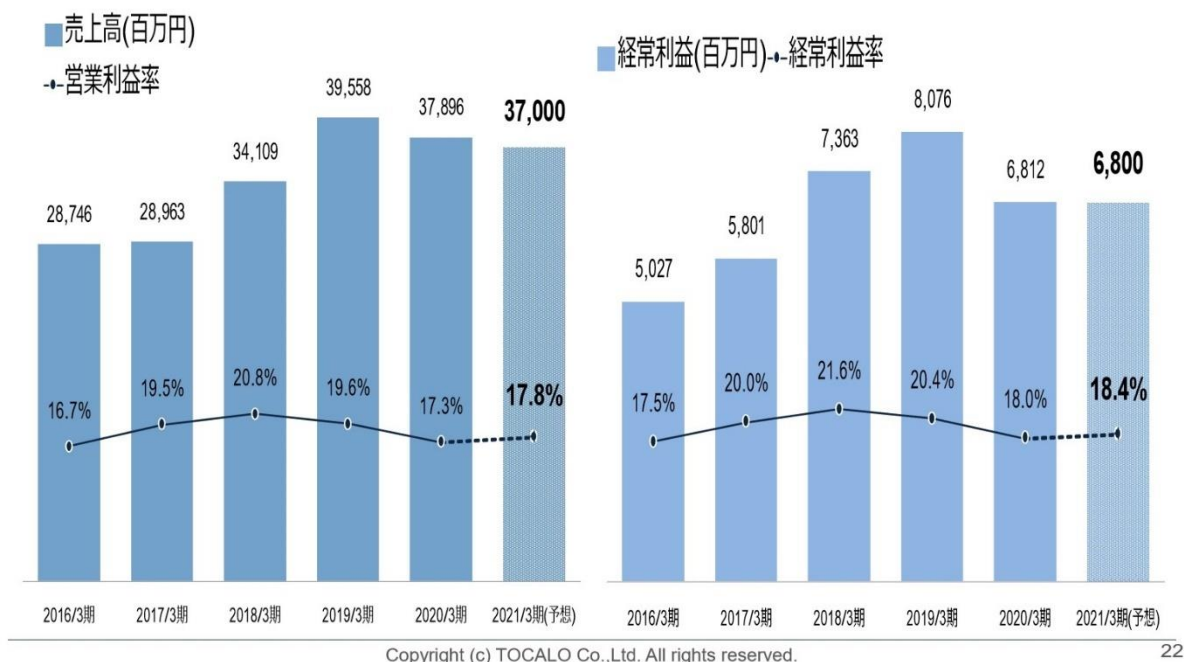
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2021年3月期 連結業績予想の概要



上期実績が期初予想を上回ったため、通期予想を修正



22

次に3番目ですけれども、2021年3月期の業績予想に入りたいと思います。

2021年3月期の連結業績予想ということで、7月の末に第1回目の業績予想を出していましたが、上期、先ほどご説明したように、半導体・FPDの関係が引っ張ってくれたおかげで、増収増益という形になってきております。そういう意味では、上方修正をさせていただいたということで、売上が今期370億円、それから利益が68億円、経常利益率18.4%と、上方修正させていただいております。

ただ、これは上、売上を5億、経常利益を8億上方修正したのですけれども、前期の分の積み増し分をもととの期初の予定に足したという感じで、上期の上振れた分を足したというだけで、下期の動向がまだ明確ではないところがございます、そういう形で発表させていただきました。

サポート

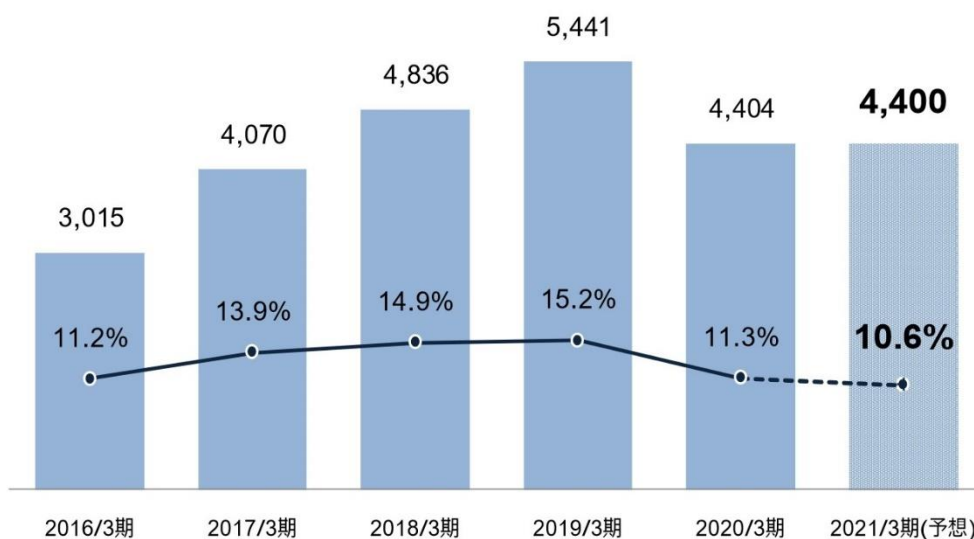
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2021年3月期 連結業績予想の概要



■ 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) ---ROE



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

23

純利益に関しましては44億円で、ROEに関しましては10.6%、最初の予定ですと10%を切っていたのですが、これでやっと二桁台に乗ってこれると。本当は15%というのを私ども目標にしてお

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



りしてそこまでは行きませんが、とりあえず二桁は維持ということで進んでおります。

2021年3月期 連結業績予想の修正



(百万円)	2021/3期				7月発表予想比増減	
	7月発表予想	構成比	今回修正予想	構成比	金額	率
売上高	36,500	100.0%	37,000	100.0%	500	1.4%
溶射加工(単体)	28,108	77.0%	28,487	77.0%	379	1.3%
半導体・FPD	15,903	43.6%	16,843	45.5%	940	5.9%
産業機械	3,768	10.3%	3,645	9.9%	△ 123	-3.3%
鉄鋼	3,400	9.3%	3,406	9.2%	6	0.2%
その他	5,035	13.8%	4,591	12.4%	△ 444	-8.8%
その他表面処理加工	1,987	5.5%	2,045	5.5%	57	2.9%
国内子会社	1,986	5.4%	1,912	5.2%	△ 73	-3.7%
海外子会社	4,417	12.1%	4,554	12.3%	137	3.1%
営業利益	5,800	15.9%	6,600	17.8%	800	13.8%
経常利益	6,000	16.4%	6,800	18.4%	800	13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,880	10.6%	4,400	11.9%	520	13.4%

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

24

これは、7月に発表した第1回目の予想と今回修正したものの差額になりまして、何をどうこうしたかという話になりますけれども、基本的には半導体の部分は上期良かったので、その分の積み上げたのは先ほどの説明のとおりでございます。

海外につきましても、台湾はほとんど半導体・FPDの世界、それから中国の半分は半導体・FPDの世界ですので、そこがかなり持ち直してきているというか、新聞に載っているような環境を示しているというところでもございますので、そこそこ来るかなということでこのような数値にしております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2021年3月期 連結業績予想



(百万円)	2020/3期		2021/3期		前期実績比増減	
	実績	構成比	修正予想	構成比	金額	率
売上高	37,896	100.0%	37,000	100.0%	△ 896	-2.4%
溶射加工(単体)	28,221	74.5%	28,487	77.0%	265	0.9%
半導体・FPD	14,102	37.2%	16,843	45.5%	2,741	19.4%
産業機械	4,782	12.6%	3,645	9.9%	△ 1,137	-23.8%
鉄鋼	3,899	10.3%	3,406	9.2%	△ 492	-12.6%
その他	5,437	14.4%	4,591	12.4%	△ 845	-15.6%
その他表面処理加工	2,384	6.3%	2,045	5.5%	△ 338	-14.2%
国内子会社	2,364	6.2%	1,912	5.2%	△ 451	-19.1%
海外子会社	4,925	13.0%	4,554	12.3%	△ 371	-7.5%
営業利益	6,550	17.3%	6,600	17.8%	49	0.8%
経常利益	6,812	18.0%	6,800	18.4%	△ 12	-0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,404	11.6%	4,400	11.9%	△ 4	-0.1%

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

25

次は、前期比になります。

前期は売上で 379 億円、今回で 370 億円。若干低いのですが、その辺あたり。あと、利益は 68 億円だった、今回も 68 億円まで持ってきて、ほぼ前期並みのレベルまでいくのかなというところに今の公表値を置いているという状況です。

先ほども言いましたように、下期というのが前期に予定したとおりの数値ですので、それがどう動いていくのかというのが、今から注意していかなくてはならないと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2021年3月期 第2四半期 進捗率



(百万円)	2021/3期 実績	2 Q 構成比	2021/3期 修正予想	通期 構成比	2 Q実績 進捗率
売上高	19,093	100.0%	37,000	100.0%	51.6%
溶射加工(単体)	14,965	78.4%	28,487	77.0%	52.5%
半導体・FPD	9,019	47.2%	16,843	45.5%	53.5%
産業機械	2,075	10.9%	3,645	9.9%	56.9%
鉄鋼	1,739	9.1%	3,406	9.2%	51.1%
その他	2,131	11.2%	4,591	12.4%	46.4%
その他表面処理加工	1,029	5.3%	2,045	5.5%	50.3%
国内子会社	892	4.7%	1,912	5.2%	46.7%
海外子会社	2,205	11.6%	4,554	12.3%	48.4%
営業利益	4,091	21.4%	6,600	17.8%	62.0%
経常利益	4,174	21.9%	6,800	18.4%	61.4%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	2,688	14.1%	4,400	11.9%	61.1%

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

26

進捗率ですけれども、今回の修正した数値に対する進捗率です。

とりあえず前期が良かったので、みんな 50%以上だいたいカバーしているというところになってくるのですが、先ほどから何度も言いますけれども、下期の動向は今から読んでいかなければならないというところです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



事業環境

- 半導体分野は 好調継続期待
- COVID-19の影響長期化で国内外ともに様々な分野で厳しい受注環境

【今期のテーマ】

★半導体・FPD分野：

微細化への技術的対応

&生産性の向上・効率化

★収益源の多角化

用途開発を加速し 新市場の開拓を推進

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

27

下期のテーマとしましては、半導体・FPD 分野は好調を持続しておりますので、そこそこいくの
だろうなと。それに乗っていかないとなという感じがしております。

もう一つは、コロナの影響がやっぱりどこまでくるのかと。今も北海道で多くなっているとか、ど
う見てもやっぱり温度と湿度の関係で、インフルエンザの関係で広がってくるのだろうなという
ところがありますので、基本的にはこの部分をどう見極めながらしていくか、これを管理しながら
どう工場を動かしていくかということにかかってくるかと思います。

テーマとしましては、もう半導体・FPD に関してはやってくれているのですが、配線の幅が、よ
く言われるとこの 27 ナノ、15、14 ナノ、7 ナノ、5 ナノとか、だんだん細くなってきました、密
になってきていますので、そこに対する技術的な対応力であったりとか、量産がかかってくるので、
それも垂直立ち上げ的にかかってくるので、これに対する対応力を、もっと生産効率を上げて
作っていかないといけないなと思います。

下期はそこをいかに動かすか、次のウィズ・コロナだろうと来期に向かって何を仕込んでおくか
というか、アプリケーションをいろいろ開発するかということに関して、次の期を迎えるための準備
をしなければいけないなというところだと思います。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

COVID-19の影響と対応

- 経済活動の停滞により、受注環境は先行き不透明
 - ・鉄鋼や産業機械分野では受注先送りが発生
 - ・半導体・FPD分野は国内外ともに影響小さく
今期業績を下支え
- 国内子会社も自動車分野を中心に厳しい受注環境が継続
- 海外子会社は1~3月に一時操業停止となるも回復傾向

**当社の取り組み方針：①従業員・取引先の安全を第一に
②事業継続のためリスクマネジメントを徹底**

コロナの影響ですけれども、非常に先ほども言いましたけれども、先行きが不安定な、ファイザーが非常に有効なワクチンを開発したというニュースもありましたが、楽しみにしておりますけれども、今期はちょっと間に合わないというところだと思います。

その中でどうするかということで、今までもしていましたが、やっぱり従業員であるとか、取引先のお客さんであるとか、安全第一がまず一番で、あといろいろ手洗いですとか、消毒ですとか、基本的なところがいっぱいある。3密にするなとか、いろいろあると思いますが、リスクマネージメント、各工場、各部門でやりながらということで、一番はその工場を止めるな、濃厚接触者を出さな、1人、2人のポジティブの患者は出しても、それを広めるなということだけは、工場を止めるなということだけは共通意識をみんな持っておりまして、ここでとりあえず事業を継続していきたいと。それなりに注文はあるものですから、継続さえしておけば、それなりの業績は上がってくるものだということです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

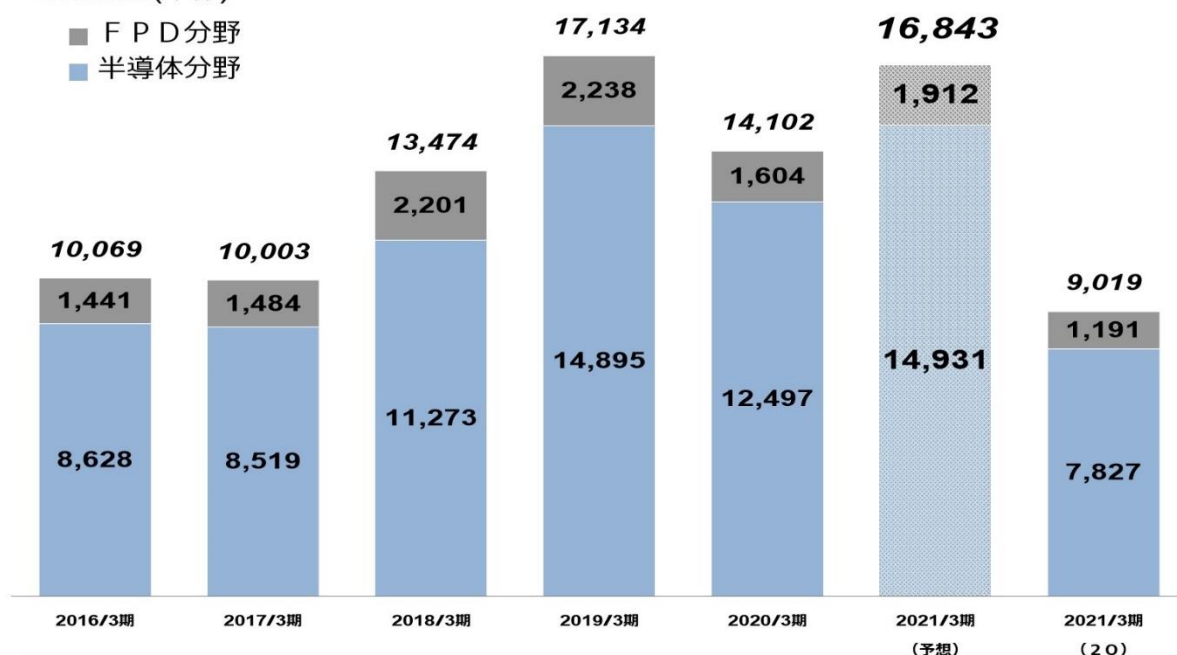
半導体・F P D分野の売上推移



溶射加工(単体)

(百万円)

■ F P D分野
■ 半導体分野



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

29

半導体の推移です。

2016 年ぐらいあたりから、5 期ぐらい書いているのですが、今期は 168 億円になりそうかなと。今は 90 億円ぐらいいっていますけれども、これを倍にしたら 180 億円なのですが、とりあえずここに置いています。

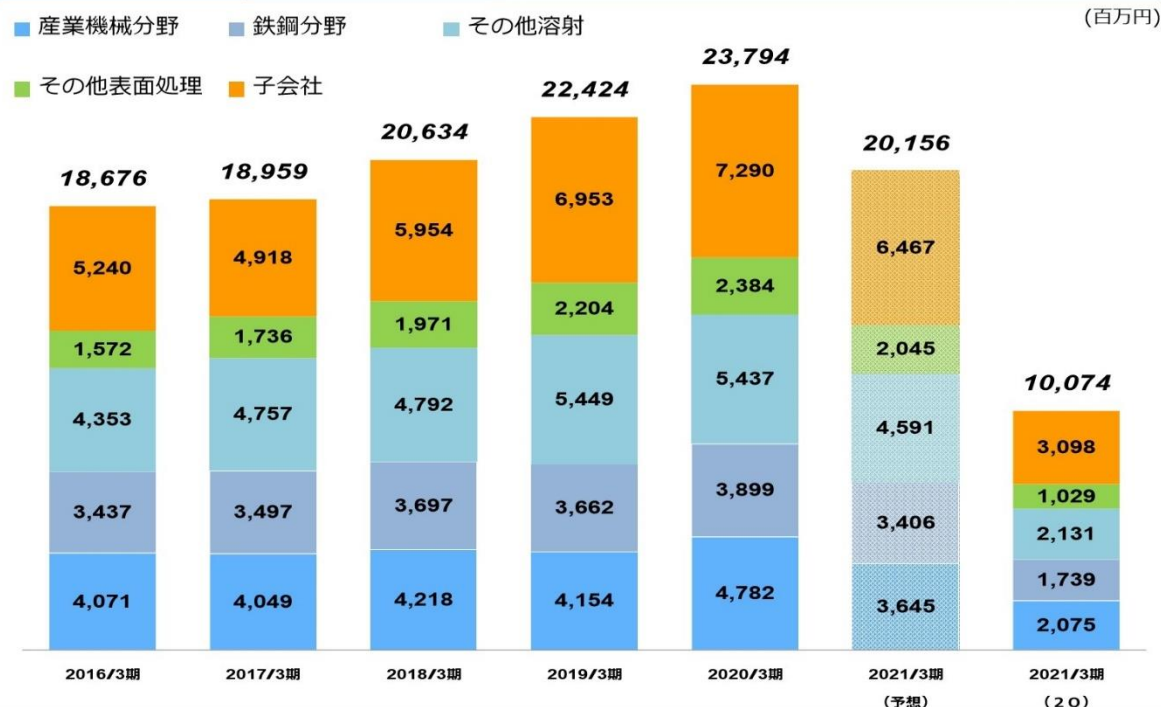
ここでも全体から言いますと、他のところの部門が下がってきてますので、45%を超えるぐらいの数値になってくるんですね、半導体の分野の占める事業の割合が。前の期が 37%、その前の期が非常に好調で 80 億円の利益を上げた時が 43%ですので、ちょっとだんだん増えてきた。でも、ここで利益を上げてれば、他のところにいろいろ研究開発していくというところもありますので、今年はこれかなというところですよ。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



半導体・FPD分野以外の売上推移



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

30

半導体・FPD 以外の分野ですけれども、前期に比べて産業機械ですとか、鉄鋼、その他溶射、その他表面処理、子会社とか、軒並み少しずつ下がっているんですね。やっぱり全体の景気の問題だと思うのですけれども、どれかがどーっと下がっているのではなくて少しずつ下がっていると。だから景気が戻れば、またアメリカの景気が戻ってきて中国が戻ってきて、それがだんだんまた上がっていくのですけれども。

それだけの外的要因だけではなくて、内的で自分たちではアプリケーション増やしていくんだ、市場開発していくんだというところを今後突っ込んでいかなければいけないかなと思います。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

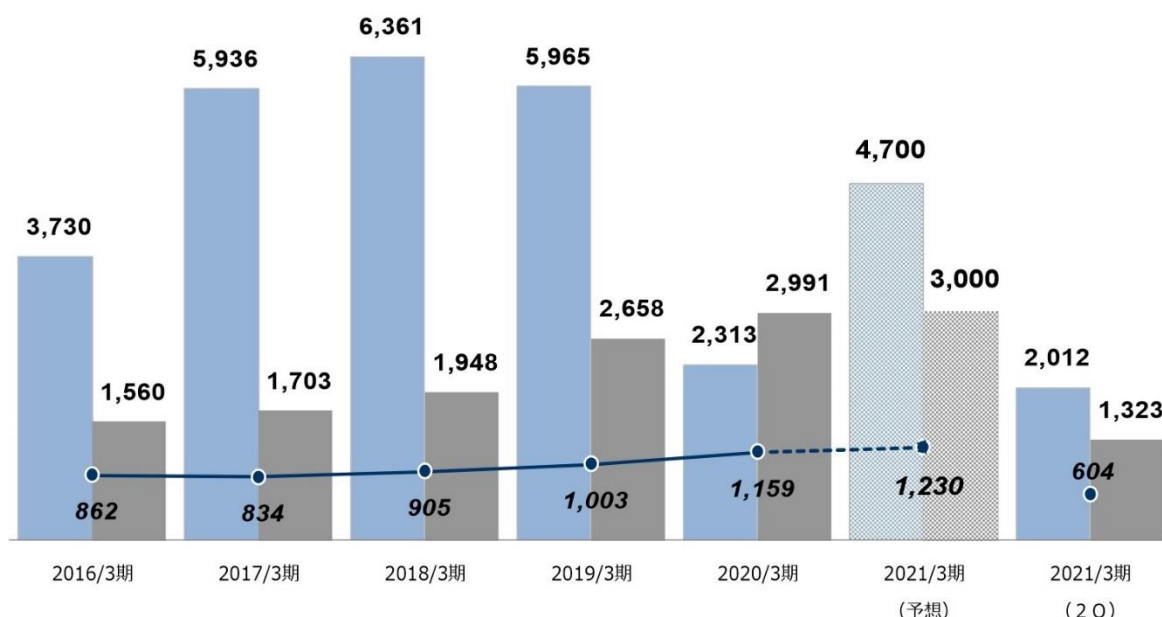


設備投資額・減価償却費・研究開発費



■設備投資額 ■減価償却費 -●-研究開発費

(百万円)



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

31

そのためにも設備投資額とか研究開発費があるのですが、今期につきましては、設備投資に関しては47億円ぐらいの、今は20億円ぐらい投資していますけれども、これは一応予算通りでやっていると考えています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



設備投資計画について



2021年3月期 設備投資予定額 47億円

トーカロ 35億円

- ・ 東京工場 新棟建設 10億円
- ・ 明石播磨工場 半導体関連設備の導入 5 億円
- その他、次世代コーティング開発設備の導入など

国内子会社

- ・ 中部地区での新工場建設等 9 億円

海外子会社

- ・ 半導体・FPD分野を中心に 3 億円



東京工場 新棟
(2021年6月完成予定)

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

32

どんなふうに投資するかというと、本体トーカロで 35 億円、JCC で 9 億円、海外子会社の、特に台湾系で 3 億円という形にしています。

東京の新棟というのは、半導体のチャンバーパーツのコーティングの、先ほども言いました極配線の細かい部分の ところまでの設備をいう。例えば、クリーンルームの 1,000 のやつを 100 にするとか 10 にするとか、そういうところまで考えながら将来、来年に向かって上がってくるであろうところに対応するため設備投資をします。

JCC の中部地区、ここは自動車産業が中心なものですから、そこに新しい設備を入れますよというところです。どちらかというと、自動車向けの PVD コーティングの工場と。海外については、台湾、台南に新しいところに設けようかなと。

特に今は半導体ですと、TSMC の一人勝ちではないですけども、すごい世界がありますので、そこに対応しておくワールドワイドに広がる世界がございますので、そこに対応するための設備投資というところです。

サポート

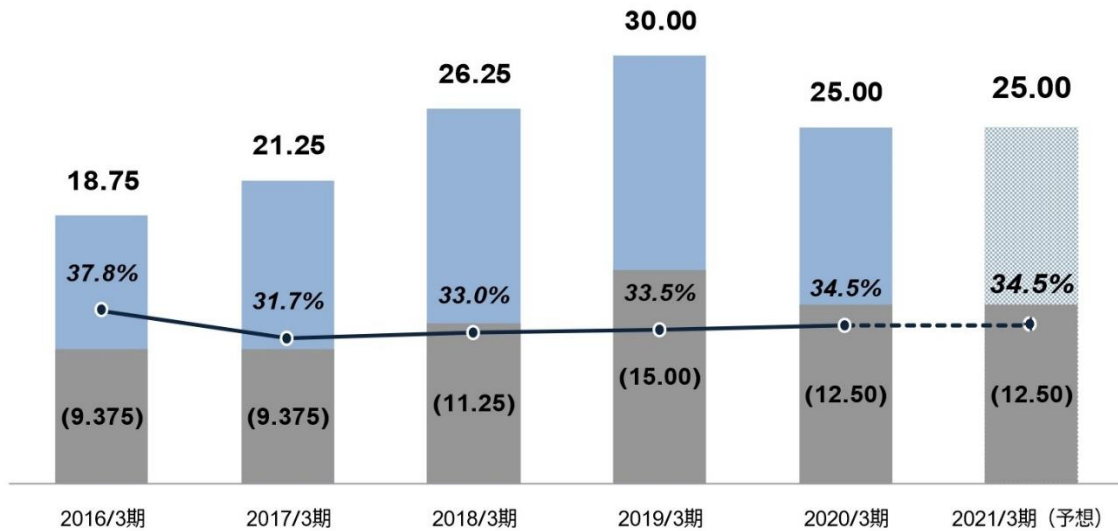
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



1株当たり配当額・配当性向の推移



■ 1株当たり配当額(円) ■ 1株当たり中間配当額(円) -●- 配当性向(連結)



(注) 2016/3期～2017/3期の1株当たり配当額は、株式分割を考慮した数値に換算しております。

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

33

前期並みの売上と利益を上げるということになってますので、とりあえず配当に関しましては前期並みとしています。それで配当性向は34.5%ぐらいなので、現段階ではこういう形にしています。

サポート

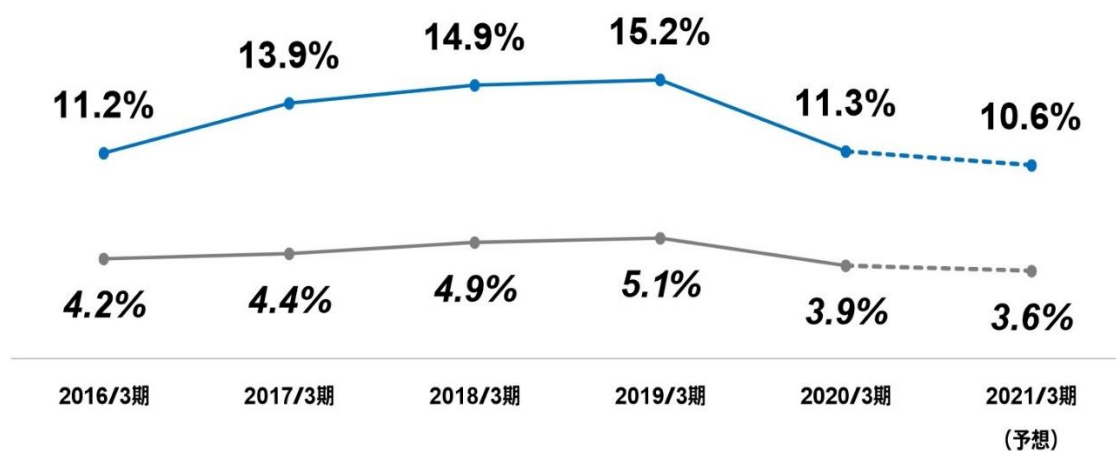
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



ROE・純資産配当率の推移



● ROE ● 純資産配当率



ROE（自己資本利益率）＝ 当期純利益／期中平均自己資本

純資産配当率＝ 1株当たり配当金／期中平均1株当たり純資産（＝ ROE × 配当性向）

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

34

先ほども説明しましたように ROE が 10.6%、ぎりぎり二桁をキープしているかなというところ
です。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



トーカロの成長戦略



新商品の開発 及び 新市場の創出

ターゲット市場の5本柱

1.半導体・FPD

2.新素材

高機能鉄鋼材料、
高機能フィルム、紙／不織布 etc.

3.エネルギー・環境

4.輸送機

高速鉄道、航空機 etc.

5.医療

継続成長のためのアクション

①収益源の多角化

- ☆半導体・FPD分野での
次世代皮膜の技術開発&市場拡大
- ☆エネルギー・環境分野への注力

②ウィズ・コロナ

- ☆事業継続のためのリスク管理
- ☆生産性向上を目指した働き方改革

③グローバルな展開

最後に、持続的成長、あまり大きなことを言えないのですが、いつも言っているようなプランです。

私どもは、溶射関係、表面処理のトップメーカーとしてどれだけ市場を開拓できるのか、溶射皮膜であるとか、私どものコーティングを世の中でどれだけ使っていただいて、世の中のためになるんだということを示すためには、新商品の開発というか、市場の創生をしていかないといけないなと。半導体・FPDでこれをかなりの部分でやってきて、また更に、相手の技術のほうが高くなってくるものですから、それに追従するための新商品の開発をしていかないといけない。

あと、新素材とかエネルギー、輸送機、医療とか項目挙げて、分野的に挙げているんですけど。特に右側に書いていますところの今期に関しましては、半導体・FPD分野での次世代皮膜の微細化に伴う技術開発をやはりやっていかないとならない。それと、市場をもっと拡大していかないといけないなということだと思います。

それからもう一つは、やはり先月、首相の菅さんが温暖化排出ガスを2050年までにゼロにする、カーボンニュートラルの方針を打ち出されましたけれども、これはかなり今後インパクトが効いてくる、要はこのエネルギー政策というのは日本を取り巻く中でかなりインパクトがあるメッセ

サポート

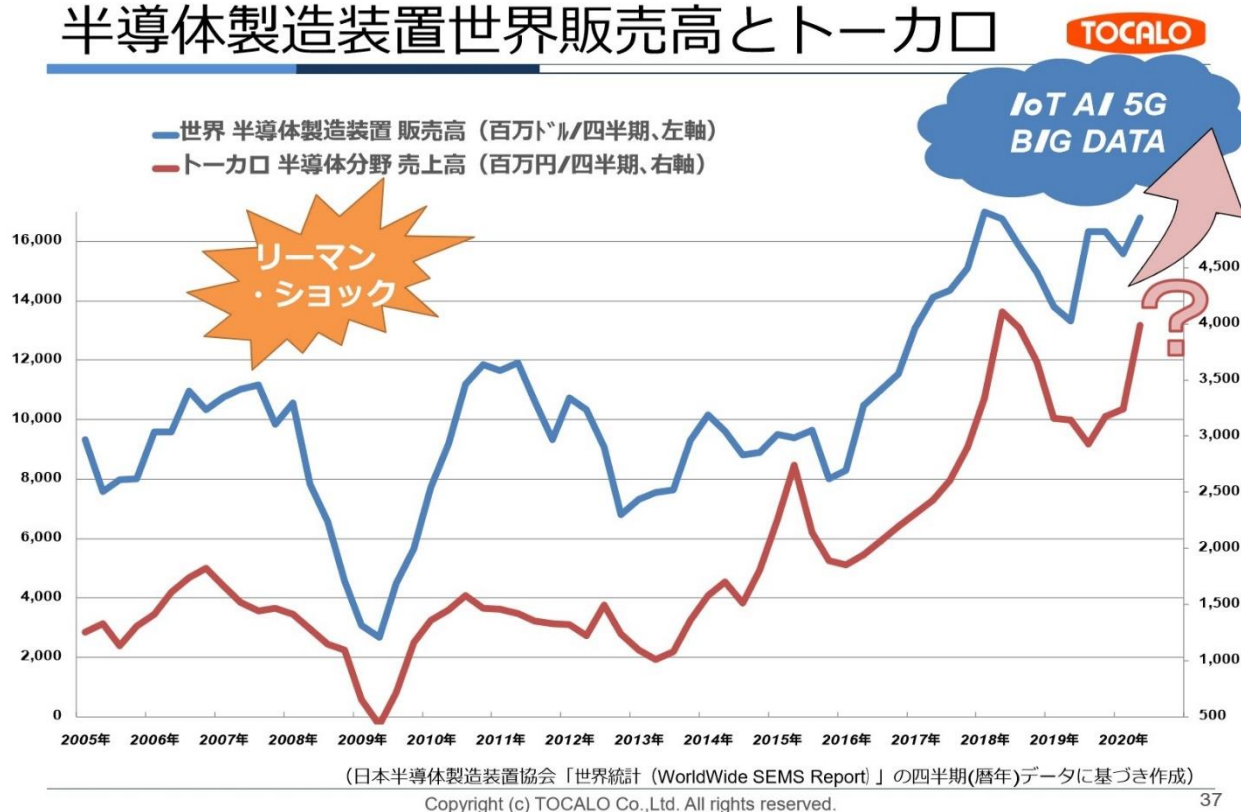
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

ージです。私どもエネルギー関係を色々なところでやっていますので、その中で何ができてくるのかということをもっと見つめ直して、市場開拓をしていかないと。後で一枚分ぐらい説明しようと思いますけれども、そういうところです。

もう一つは、ウィズ・コロナというところで、これらはまだまだ収束しませんので、先ほども言いましたように、このコロナに対してどう工場を止めるなというところでやっていくかということです。

あと、グローバルはコロナにもよるのですけれども、それなりのコーティングの戦略を中心に日本企業をサポートするか、その部分をしながらやっていくということです。

半導体製造装置世界販売高とトーカロ



半導体です。

この図は、1年前も説明したと思いますけれども、半導体製造装置の世界の販売高がクォーターごとに出てまして、これは日本半導体製造装置協会というか、ワールドワイドの SEMS レポートを基にして作られているものです。これが青で書かれています。こういう動きをしていますね。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

私どもの半導体分野の売上高、これも同じようにクォーターごとにまとめて、結構同じような、ここだけちょっと特需がありまして、新しい皮膜を開発したところがあるのですけれども、同じようなちょうど今年の6月まで第1クォーターまで、まあそれなりに、ここからがどうなってくるかという話です、この青いのが。

今までの線からいきますと、ほぼ同じ傾向を示すというところで、誰もが多分こんなの行けるんじゃないかという話で。私どももこれに則った形で追随できるような技術開発を含めた量産化、技術も含めてやっていきたいと思っています。

時間もありますので、先ほどの脱炭素社会というか、その化石燃料からグリーンエネルギーへの転換がやはり行われてきます。そこでコーティング事業というのは、今までもそれなりにやってきた。今まではどちらかというと、石炭火力の発電、ボイラーを中心とする石炭火力の関係ですとか、LNG というか、オイルもそうですけれども、ガスタービンの関係、それから LNG と気化器があるのですけど、ORV という気化器があるのですけれども、そういうやつの溶射というか、その表面のコーティングをいろいろそれにさせていただく。

これも多分それなりには続くのでしょうかけれども、転換が起こって何が起こってくるかというと、再生エネルギーの関係、水力、地熱、風力、それから太陽光もあるのでしょうかけれども、太陽光は溶射に対してはあまりないのですね、需要というものが。中国がほとんど製造装置の関係で作ったもの。

一つは、やはりこの石炭火力というものは、2030 年までに低効率のものは止めると。100 のプラントぐらいは止めると言っていますので、ということは高効率のものだけが残ると。そのためのシステムが出来上がってくるのでしょうかけれども、それにはやはりボイラーのコーティングですとか、どうしても必需品になっているんですね。

要は、メンテナンスをきちっとやって制御された状態で運転するところがありますので、そういう意味では高度のメンテに対するコーティングというのはいろいろメーカーさんと開発しておりますので、その辺の部分であるとか。

IGCC でガス化をすることによって、セクターの CO2 の削減をしていこうという、これ実証プラントが福島にできていますので、その中にいろいろなコーティングが使われていますよとか。

それから、バイオマスですね。まずは石炭に入れるやつとかいろいろ出てくるとは思いますけど、その中で腐食の問題とか、いろいろな問題が生じてくるので、それに対する対応。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



今、日本が中心になってやっております水素化社会。SOFC というか、固体酸化燃料電池の関係、これは水素を使うのですけれども、これは溶射で作っていいこう、電極をどうしようかといろいろな研究開発されていまして、その対応。それから、水素作るのにどうするのか。一番いいのは、例えば風力とか太陽光で発電したやつで電気分解して水素作るのがいいよねというのがありまして、そういう意味では電気分解の発生をするための電極、電極というのはその材質と比表面積に関わってきますので、そういう意味では溶射というのはもってこいの世界で、いろいろな開発が行われています。

それから、風力とか太陽光というのは、安定的な電力の発電ができないものですから、どうしても蓄電池が必需品になってくる。そういう意味では、昔から私どももやっている NAS 電池の復活があるのだろうなとか、リチウムバッテリーに関しましては、リチウムバッテリー製造装置の溶射適用部材がいろいろ出てきていますので、そういう意味では面白い世界が、事業の展開が広がっていきかなというところがございます。

これは最近作りましたので、お手元の資料にはないかもしれませんが、ご勘弁ください。

これも前に出したと思うのですが、リチウム電池を作るのに、要は大事なのは正極・負極・セパレーターと製造装置なのですけれども、コンタミは絶対駄目だということと、例えば、コバルト酸リチウムであったりとか、ニッケル酸リチウムであったりとか、そういう物質を作るのに調整をするのですね。

その時にトレーというのが要りまして、トレーと反応したら駄目よとか、そのトレーを搬送するところからコンタミが入ったら駄目よとか、いろいろそういう制約がございまして、そこに溶射皮膜というのが使われているというところ。セパレーターも一緒に、これはフィルムですので、どういう均一なフィルムを作るか、これは均一なロールがないとできないというところから来ていまして、そういうところになります。

それから、リチウムイオン電池はシート状になっていることが多いのですけれども、そのシートに負極材塗るというか、塗って、ある厚さで、密度を決めた状態で製造していくのですけれども、大事なのはプレスロールというところになります。このプレスロールによってその性能が決まるというぐらい、そのプレスロールというのは傷ついたらいい電池ができないものですから、そういう意味ではこういうところにいろいろ溶射が、全面適用とは言いませんけれども、それなりの世界ができていますよというところですよ。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

再生エネルギーに対する対応も今後かなりのスピードで、政権が変わりまして、アメリカのほうもパリ協定うんぬんという話もありますので、そういう意味ではかなりドライビングフォースがかかるのではないかと、私どもは対応していきたいと考えております。

以上でございます。ありがとうございました。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



質疑応答

司会：三船社長様、どうもご説明ありがとうございました。それでは、質疑応答に入ります。

ご質問のある方は挙手していただき、ご質問いただければと思います。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開をする予定でございます。従いまして、もし匿名を希望される場合は、質問をされる際に氏名を名乗らないようお願い申し上げます。

では、ご質問いかがでございましょうか。

質問者：本日は、わざわざ東京までお越しいただきありがとうございます。

配当の考え方を確認させていただきたいのですが、業績について恐縮ですが、34 ページのところで、純資産配当率という考え方があって、表が載ってまして、以前 5%程度というような目安があったかと思うのですが。

もちろんその設備投資だとか研究開発、あるいはウィズ・コロナの状況の見極めなど重要だとは思われますけれども。もうすでに自己資本比率であるとか、ネット・キャッシュの状況を鑑みますと、そろそろその DOE だとか、そういったところで 5%と決めていただいて、リコートの比率もかなり高くなっていますので、以前よりも収益のブレはかなり半分程度少なくなっていますので、半導体と言えども御社の場合ストックビジネスの部分がかなり大きいということもあって、昔と比べてということです。

そこは 1 年後 2 年後という、この数年というタイムスパンの中で、ちょっと真剣に議論していただけないかと思っているのですが、その辺りの考え方、どうでしょうか。

三船：この DOE というのを毎年出しているのですが、どういう形で今後この数値を有効数字にしていけるか、大事にしていくかというところは見ながらやっているのですが、確かにおっしゃる意味は分からなくもないのですが、議論は進めていきたいと思います。

この配当というのは、大事な政策だと思いますので、本当はあるメーカーさんみたいな形でしっかりと配当性向を打ち出したいところもあるのですが、なかなか日々受注産業をやっておりますので、なかなか難しいところもございまして、というところですね。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

質問者：やっぱり投資家にとってのフリーキャッシュ・フローですので、配当というのは。その部分での多少なりとも、コミットしたとしてもそれは約束ではなくて、一応コミットメント、何と言ったらいいのですか、紙のペーパー上の契約ではないものですから、そういったところがはっきりしてくると、資本コストの考え方でもかなりとらえられて、株価上がるのは間違いないと思うのですね。

その部分で買収防衛だとか、少なくとも社員のためにそういったことはなると思いますので、そういうこともおいおい少し検討していただければということでお願いですけれども。これは質問ではないですけど、よろしくお願いします。

三船：ありがとうございます。貴重なご意見として伺っておきます。

司会：ありがとうございました。他にご質問ございませんでしょうか。

質問者：本日はありがとうございます。

いくつか質問があるのですけれども、まず下期のご計画ですね。まず、半導体のところは、この計画だと上期に対して、下期はマイナス 13%ぐらい落ちないとこの数字にならないということですが。当然、不透明な状況はあるかと思っているのですが、仮にコロナの再燃がなかったとして、今の足元、落ち込むような状況が出てきているのかどうか、それだけ確認させてください。これが一点目です。

それから、今回投資がまた再開、47 億ということで、また大きな投資が出てくるかと思うのですが、来期の減価償却というのはどれぐらい増えていくのかということ。これについては、例えば新棟なんかは 6 月にできることだと思うのですけれども、これが収益に貢献してくるような見通しがあるのかどうかというところを教えてください。

最後 3 点目なのですけれども、最後の二つ見せていただいた再生可能エネルギーのところと、あと電池のところがいくつかあったのですけれども、NAS 電池ですね、これは足元復活可能とおっしゃったのですけれども、これは復活の兆しがあるということでよろしいのでしょうかということと。

リチウム用電池のところ、いくつか装置の溶射適用、これによって、お客さんが今までと変わってくるようなことがあるのかということ、今までと違うお客さんに対して、何か供給していくものがあるのかどうか。要するに、お客さんのその構成が、そのリチウム電池が増えてきたときに東京エレクトロンさんへの依存度が下がっていく可能性があるのかどうか、それだけ確認させてください。以上です。よろしくお願いいたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



三船：まずは下期の計画については、発表する時点ではやっぱりかなり不透明感がございましたので、どうなるのだというのがあって。ただ、やっぱりおっしゃるようにコロナがそんなに影響ないよということになれば、そんなに落ちる要素は半導体・FPDの世界はないと思います。

あと、例えば鉄鋼にしても若干、車屋さんがやっぱり売れていますので、そういう意味では高炉を早めに立ち上げるとかいう話も、いい話も聞こえていますので、どちらかと言うとコロナが変なことにならないければ、そんなに落ちる要素はないだろうなと思っております。反対に期待するところもございます。

質問者：28 ページのところに、半導体・FPD のところではよく分からないのですが、鉄鋼産業自体、自動車はかなり厳しい文言が入っているかと思えますけれども、これは例えば昨日とか先週とかの日鉄さんとか JFE さんとか、あと自動車の決算を見る限りは、ここまでではないという印象でよろしいのでしょうか。何か状況があって、少し遅れているということがあるのでしょうか。

三船：鉄鋼はそこそこやっていて、産業機械のところで私どもの一つのメインであるベアリングをしているのですけれども、ベアリングはやっぱり新幹線があれだけ運行数を落として設備予算をだんだん減らされたということもございます。それから中国に関しても同じようなところで、結構在庫がたまっているということを聞いておまして、やっぱり、そういうところでは動きが悪いなというところはございます。先行きがある程度予測はしているというのがあります。そういう意味では、あんまり期待はしていない、その部分の期待はあんまりしていない。そんな程度。

それから来年の償却ですよね。大体、今年並みぐらいになると思っております。30 億ぐらいになるでしょう。

それからもう一つは NAS 電池。すごく期待しておりますけれども、復活の兆しはまだ見えていません。ただ、あの電池はやっぱり容量的に、容量を蓄電するには非常にいい電池なのですよ。もちろん技術的な問題、値段の問題とかあると思えますけれども。

ただ、あれは 1995 年、1996 年ごろからやっていて実績的には一番なのですね。だからたぶんそういうのが復活、再生エネルギーが日本で盛り上がってきたら間違いなく手が伸びるだろうなというところで、復活に期待というところで、今細々とやっております。設備は残していますので、期待しております。

また、リチウム電池が置き換わるか、半導体に。

質問者：お客さんなのですか。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

三船：無理です。絶対無理です。絶対ないです。リチウム電池ぐらいではないです。他の再生エネルギーの全部を合わせたところだと分からない。例えば、水素化だとか、その辺になってくるとまた面白いですね。半導体は抜けていますので、それはそれで置きといて、違うところを増やしていくという考え方にしています。

質問者：ありがとうございました。

司会：ありがとうございました。

他にご質問はございますでしょうか。それでは、ご質問もないようですので、これにて説明会を終了させていただきます。三船社長様、ありがとうございました。

三船：どうもありがとうございました。

司会：皆様もご協力ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com